

## イオン 1%クラブ アジアエコリーダーズ 参加報告

理学部地球惑星科学科 学部 4 年

私は 11 月末から約 1 週間、「イオン 1%クラブ アジアエコリーダーズ」プログラムに参加させていただきました。このプログラムでは、アジア各国の大学生が集まり、現地での見学、講義を通して環境問題に関して学び、その問題解決への提言を行うプログラムになっています。今回は日本をはじめとして、インドネシア、中国、マレーシア、タイ、ベトナムの 6 カ国から 84 人の大学生が参加しました。日本からは東工大だけでなく、東京大学、早稲田大学など様々な大学から参加者が集まります。

知ったきっかけは 2012 年度の同プログラムに参加していた友人から話を聞いていたことです。以前からそのようなプログラムに興味があり、6 カ国が同じ場所に集まるプログラムはなかなかないチャンスだと思い、今回応募することにしました。このプログラムは授業期間にあるのですが、学部 4 年後期で授業を履修していないこともあり、本プログラムの期間中に授業欠席などすることなく参加することができました。費用も魅力の一つでした。渡航費、宿泊費、食事代などは主催のイオン 1%クラブから援助をいただけるので、参加者が負担しなければいけないのは現地での雑費(お土産代など)のみです。海外で勉強をする際に気になる点のひとつが費用になると思うのですが、かなりサポートが大きい部分だと思います。宿泊先、食事の内容など、準備していただいたものには何不便なく過ごすことができました。

今回のプログラムテーマは「廃棄物処理」ということで、現在研究室で学んでいる内容とは接点のないものでした。不安もありましたが、事前研修やプログラム前に配布される資料を参照して、簡単ではありますがテーマに関して簡単な知識に触れて、開催地であるインドネシアに向かいました。

まず 6 カ国の学生を含む 10 チームに分かれます。最初に会ったときはみんな神妙な面持ちでした。最初にびっくりしてしまったエピソードが一つあります。1 番目に自己紹介した中国人のチームメイトが「このチームのリーダーになりたい。信じてほしい。」と立候補しました。リーダーを決める話し合いは自己紹介のあとだったので、実際少しリーダーに立候補することに興味をもっていた私は驚いてしまい、こんなにも決意も持っている人がいるのだと思い、その時点でリーダーを託そうと考えていました。そして、その場にいる全員がその中国の彼にリーダーを託すと思っていたら、事情があり最初の自己紹介に遅刻してきたインドネシア人のチームメイトが、リーダーを決める話し合いになった時に「ぼくもリーダーに立候補する」と言いました。事前に中国のチームメイトが強く立候補していたのにも関わらず彼が立候補したとき、とても大きなショックがあったことを覚えています。日本ではこんなにも積極的にリーダーを争うことなんてなかったし、本当に自分の意思が強いんだなと感心していました。最終的にイ

インドネシアの彼がリーダーになり、プログラムがスタートしました。

正直いきなりそのような強めの話しあいがあったので、そのチームの中で仲良くできるかがとても不安でした。しかしそんな不安は日にちが進むにつれてなくなっていきました。うるさいくらいとてもおしゃべりなインドネシア人のリーダー、最初はとても厳しい性格なのかと思っていたけれども実際はとてもコミカルで面白い中国の彼、他にも性格の強いタイの子、とても知的ですどい突っ込みをしてくるベトナムの子など、いろいろなキャラクターが現れてきて、チームのメンバーと楽しくプログラムを過ごすことができました。

プログラム内での共通言語は英語になります。私の取得していたTOEICスコアは845点でしたが、ディスカッションとなるとなかなか意見の擦り合わせに時間がかかり、難しい面がありました。しかし、これはこういうことなのか、のように聞き直して内容の確認をしたり、ノートで図を書いて説明をしたりすることで内容を自分の中で把握することができました。最後のグループプレゼンテーションでは、お互いの話す内容など助け合いながら審査員の方たちに意見をぶつけました。残念ながら最後の表彰ではいい結果を得ることができませんでしたが、メンバーの中では最後まで協力できて本当に充実したプレゼンテーションができあがったと話していました。

今回の留学ではとにかく参加国・参加者が多く、多くのナショナルリティーに触れました。特にチームメンバーと見学、講義をいっしょに受けているときには、時には講義の内容で、時にはほんとうにくだらない内容で話し合うことができ、それを通して普段の生活では分からないことを知ることができたと思います。今後は、個人としては英語でのコミュニケーション力を高めたり、より海外の方の特徴を知り相手のバックグラウンドを把握してコミュニケーションをとったりできるように普段から意識して国内での国際交流活動に励んでいきたいと考えています。また、このような経験を友人や後輩にもしてもらいたいと思うので、このすてきな経験を周りにシェアしていければと思います。

「アジアエコリーダーズ」はアジア各地から、さらに日本各地から集まった学生と切磋琢磨しながら非常に充実した時間を過ごすことのできるプログラムです。テーマの内容を学ぶだけでなく、海外の学生と生活することで各国のナショナルリティーを感じることができます。留学に行く場合、まずは自分のこと、日本のことをしっかりと表現できる方が充実した時間を過ごすことができると思うので、まずは自分のこと、日本のことをしっかり理解し、それを英語で表現できるようにするといいと思います。その上で海外のことを知ると、さらに視野が広がり、留学に行く意味がまた一つ増えるのではと考えています。